



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 東
 コード番号 3758 URL <https://www.aeria.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 祐介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 上野 哲郎 (TEL) 03 (3587) 9574
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,656	16.4	222	△30.6	198	△14.7	142	△24.6
2025年12月期第1四半期	4,000	△3.1	320	—	232	—	189	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 191百万円(△27.1%) 2025年12月期第1四半期 262百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	7.02	—
2025年12月期第1四半期	9.02	—

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費)

2026年12月期第1四半期 240百万円(△31.3%) 2025年12月期第1四半期 349百万円(—%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	20,729	9,224	41.2
2025年12月期	21,238	9,231	40.2

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 8,531百万円 2025年12月期 8,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	17,500	6.2	900	34.8	700	29.3	500	41.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名) 株式会社エポックイン、除外
 心斎橋 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	21,249,428株	2025年12月期	21,249,428株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	993,074株	2025年12月期	693,574株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	20,334,831株	2025年12月期1Q	20,988,254株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日~2026年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要があります。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要があります。

当社グループが展開しているインターネット関連事業においては、スマートフォン・タブレット端末の普及に伴い、インターネット利用者数の増加やEC(電子商取引)市場の拡大等を背景として、引き続き成長を続けております。さらに、コンテンツサービスの多様化が市場規模を拡大しており、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツ市場においても継続的な成長を続けております。一方で、魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、サービス内容は複雑化・高度化する傾向にあるなど、開発費用や人件費等のコストが増加するだけでなく、企業間におけるユーザー獲得競争が一層激化しております。また、アセットマネジメント事業においては、投資用不動産の価格水準が高く推移し利回りも低くなっており、適正な投資案件が不足している状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、コア事業と位置付けるITサービス事業について安定した収益基盤を強化し、コンテンツ事業においても、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツの開発事業及び配信・運営事業を強化するとともに、子会社各社の強みを生かし、これまでのマス・マーケットからターゲット層を絞ったニッチ・マーケットでの基盤を作り、深耕を進めてまいりました。また、アセットマネジメント事業においては、規模が小さく、事業期間の短い収益不動産を中心として展開することにより、事業リスクをコントロールし、金融機関の融資姿勢等に鑑み慎重に事業を運営してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高4,656百万円(前年同期比16.4%増加)、営業利益222百万円(前年同期比30.6%減少)、経常利益198百万円(前年同期比14.7%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益142百万円(前年同期比24.6%減少)となりました。

また、EBITDA(営業利益+減価償却費)は240百万円(前年同期比31.3%減少)となりました。

なお、当社グループでは、M&Aを活用した事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していくなかで、各国の会計基準の差異にとらわれることなく企業比較が可能なEBITDAを経営指標として採用しております。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の配賦基準に基づき作成したものを記載しております。

① ITサービス事業

ITサービス事業につきましては、データサービス事業を行う株式会社エアネットが安定した収益を獲得しておりますが、オンライン電子出版に特化したアフィリエイトプラットフォーム事業を行う株式会社ファーストペンギンの決済代行収益並びにアフィリエイト広告の収益が減少したことに伴い、売上高及び営業利益が減少しております。

以上の結果、売上高は410百万円(前年同期比8.2%減少)、営業利益は9百万円(前年同期比49.2%減少)となりました。

② コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン・タブレット向けゲームの開発、配信及び運営並びにキャラクターグッズの販売等を行っております。既存コンテンツ及びグッズ販売の収益が減少したことに伴い、売上高及び営業利益が減少しております。

以上の結果、売上高は1,875百万円(前年同期比21.3%減少)、営業利益は6百万円(前年同期比92.5%減少)となりました。

③ アセットマネジメント事業

アセットマネジメント事業につきましては、不動産の賃貸及び売買並びに国内外の企業等への投資等を行っております。販売用不動産の竣工から決済までが順調に推移したことから売上高は増加したものの、営業利益は若干下回りました。

以上の結果、売上高は2,390百万円(前年同期比99.9%増加)、営業利益は205百万円(前年同期比2.0%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間の末日における財政状態は、下記のとおりであります。

①資産の部

(流動資産)

流動資産につきましては16,539百万円(前連結会計年度末は17,147百万円)と608百万円の減少となりました。主な要因は、商品が6,357百万円(前連結会計年度末は6,051百万円)と305百万円増加した一方で、現金及び預金が7,456百万円(前連結会計年度末は8,071百万円)と614百万円減少、売掛金及び契約資産が1,238百万円(前連結会計年度末は1,588百万円)と349百万円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては4,190百万円(前連結会計年度末は4,091百万円)と98百万円の増加となりました。主な要因は、投資有価証券が1,183百万円(前連結会計年度末は1,105百万円)と78百万円増加、差入保証金が242百万円(前連結会計年度末は213百万円)と28百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は20,729百万円(前連結会計年度末は21,238百万円)と509百万円の減少となりました。

②負債の部

(流動負債)

流動負債につきましては8,543百万円(前連結会計年度末は8,788百万円)と245百万円の減少となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が3,697百万円(前連結会計年度末は3,363百万円)と333百万円増加した一方で、買掛金が394百万円(前連結会計年度末は530百万円)と136百万円減少、未払金が326百万円(前連結会計年度末は458百万円)と131百万円減少、未払法人税等が54百万円(前連結会計年度末は183百万円)と128百万円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては2,961百万円(前連結会計年度末は3,218百万円)と257百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が2,330百万円(前連結会計年度末は2,590百万円)と260百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は11,504百万円(前連結会計年度末は12,007百万円)と502百万円の減少となりました。

③純資産の部

純資産合計につきましては9,224百万円(前連結会計年度末は9,231百万円)と6百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加142百万円、剰余金の配当による資本剰余金の減少102百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,071	7,456
売掛金及び契約資産	1,588	1,238
商品	6,051	6,357
仕掛品	0	0
前渡金	1,069	1,123
前払費用	180	242
預け金	16	12
未収還付法人税等	7	8
その他	162	99
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,147	16,539
固定資産		
有形固定資産	2,529	2,516
無形固定資産		
ソフトウェア	3	2
その他	0	0
無形固定資産合計	3	2
投資その他の資産		
投資有価証券	1,105	1,183
関係会社株式	1	1
長期貸付金	7	7
長期滞留債権	450	450
差入保証金	213	242
繰延税金資産	81	79
その他	121	128
貸倒引当金	△421	△422
投資その他の資産合計	1,558	1,671
固定資産合計	4,091	4,190
資産合計	21,238	20,729

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	530	394
短期借入金	1,496	1,486
1年内償還予定の社債	50	50
1年内返済予定の長期借入金	3,363	3,697
未払金	458	326
未払費用	154	191
未払法人税等	183	54
賞与引当金	115	122
役員賞与引当金	9	-
預り金	1,353	1,280
その他	1,074	940
流動負債合計	8,788	8,543
固定負債		
社債	85	80
長期借入金	2,590	2,330
繰延税金負債	318	340
役員賞与引当金	-	-
役員退職慰労引当金	14	-
退職給付に係る負債	42	43
資産除去債務	31	22
その他	136	144
固定負債合計	3,218	2,961
負債合計	12,007	11,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	8,068	7,966
利益剰余金	375	517
自己株式	△254	△342
株主資本合計	8,289	8,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	332
為替換算調整勘定	△41	△42
その他の包括利益累計額合計	250	289
新株予約権	17	17
非支配株主持分	674	675
純資産合計	9,231	9,224
負債純資産合計	21,238	20,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	4,000	4,656
売上原価	2,384	3,258
売上総利益	1,615	1,398
販売費及び一般管理費	1,295	1,176
営業利益	320	222
営業外収益		
受取利息	4	8
為替差益	-	2
受取給付金	0	1
違約金収入	-	15
その他	3	3
営業外収益合計	7	30
営業外費用		
支払利息	44	49
為替差損	33	-
その他	17	4
営業外費用合計	95	54
経常利益	232	198
特別利益		
固定資産売却益	8	0
役員退職慰労引当金戻入額	2	8
その他	-	0
特別利益合計	10	8
特別損失		
投資有価証券評価損	0	-
固定資産除却損	0	0
事業整理損	2	-
その他	0	-
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	240	207
法人税、住民税及び事業税	54	54
法人税等調整額	△3	1
法人税等合計	50	55
四半期純利益	190	151
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	189	142

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	190	151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	41
為替換算調整勘定	25	△1
その他の包括利益合計	72	39
四半期包括利益	262	191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261	182
非支配株主に係る四半期包括利益	1	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年11月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得(299,500株)を行い、当第1四半期連結累計期間において自己株式が87百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が342百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	I Tサービス	コンテンツ	アセットマネ ージメント			
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	432	2,372	1,195	4,000	—	4,000
外部顧客に対する売上高	432	2,372	1,195	4,000	—	4,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	10	—	25	△25	—
計	447	2,382	1,195	4,025	△25	4,000
セグメント利益	19	91	209	319	0	320

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ITサービス	コンテンツ	アセットマネ ージメント			
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	390	1,875	2,390	4,656		4,656
外部顧客に対する売上高	390	1,875	2,390	4,656	—	4,656
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	0	—	20	△20	—
計	410	1,875	2,390	4,676	△20	4,656
セグメント利益	9	6	205	222	—	222

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の配賦基準に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	29百万円	18百万円